

設置の前に

■配管施工について

ここに書かれた事項は、配管施工に関する重要な内容です。

この内容を十分にご確認の上、正しい配管工事を行ってください。

○本製品を設置されるときは、『タカラグループ給排水設備工事標準』、および本書の『配管施工上の注意』に基づいて配管施工を行ってください。

注意を怠って配管されますと、ミキシングが満足に働かず、一定温度のお湯が得られないことがあります。

○本製品は室内専用です。設置は必ず室内に行ってください。

■配管施工上の注意

○給水（一次給水）配管

- ・市水道直圧管の場合、各水道局指定の工事店に依頼し、その地域の“水道局施工基準”等の法規に従って工事を行ってください。
- ・市水道直圧管以外（高架水槽下り給水管等）の場合、その地域の“水道局施工基準”等の法規に従って工事を行ってください。

○給水配管には錆の発生する管材料は使用しないでください。

原則としてVP管または、その地域の指定材料をご使用ください。

○給湯配管には原則として脱酸銅管Lタイプを使用してください。

○給湯・給水配管は原則として同径同圧にしてください。

○管の切断面は必ずリーマをかけてバリ取りをしてください。

○空気溜りの原因となる逆U字配管（鳥居配管）は避けてください。

○給湯・給水管内の配管くず・ゴミ・砂・油はドラブルの原因になりますので、必ず除去してから配管接続をしてください。

○配管接続を行い、通水テスト後にストレーナー及びシャワーヘッドの掃除をしてください。

○排水管の勾配は、排水管径φ75未満は1/50以上、φ75以上は1/100以上にしてください。

○湯・水を逆配管しないでください。

逆配管は水栓金具の温度調節不良の原因になり、やけどの危険があるなどトラブルの原因となります。

○給湯機からの給湯配管は、抵抗を少なくするため最短距離にしてください。

長くすると温度変化やお湯の出が悪くなる原因になります。

○配管後は、必ず保温材を巻いてください。

○温水ボイラーの配管要領について

- ・給湯本管・給水本管は原則として同径同圧にしてください。
- ・温水ボイラー設置については、必ず専門業者に施工依頼してください。

○器具にヘアキャッチャーが内蔵されています。

○アンカー位置を避けて立ち上げ配管を行なってください。

■床下および階下への水漏れ防止措置のお願い

万が一の漏水時に備え、水漏れ防止措置を必ず行なってください。

○床材は防水の材質のものを使用してください。

○床面に開口部がある場合には、内装施工の方で開口部を塞いでください。（防水施工）

○さらに配管パッキンを取り付けてください。

○その上で防水工事を実施する等、確実に防水措置を行ってください。

○防水措置に不備があり、漏水事故が発生した場合、当社は責任を負いかねます。

■床面について

- 床面材料・床面仕上げ材は、防水材もしくは防水加工したものを使用してください。
- 床面は必ず水平を確保してください。
- 床面は、取付け部分に凹凸がないよう平滑にしてください。
- 配管立上

[H仕様]

給湯・給水	R c 1 / 2 “ 床面立ち上げ配管 立ち上げ寸法 給湯： 1 4 0 mm 給水： 1 4 0 mm
排水	V U 4 0 / V P 4 0 床面立ち上げ配管 立ち上げ寸法 2 4 0 mm

[L仕様]

給湯・給水	R c 1 / 2 “ 床面立ち上げ配管 立ち上げ寸法 給湯： 6 0 mm 給水： 6 0 mm
排水	V U 4 0 / V P 4 0 床面立ち上げ配管 立ち上げ寸法 1 6 0 mm

- 床面仕上げがタイル等の素材の場合、シャンプーユニット取付け時のボルト締め込みにより、「割れ」が発生します。この場合、製品固定位置図及び型紙を参考に、床と接している取付け部分は合板、モルタル等の素材に変更してください。
- 床面には以下の強度が必要です。

木製床の場合	ベニヤ厚は3 0 mm以上(1 5 mm板 2 枚重ね以上)です。
モルタル床の場合	モルタル厚は5 0 mm以上です。
特殊な床(石張り等)の場合	設置位置に上記の強度を確保した土台が必要です。

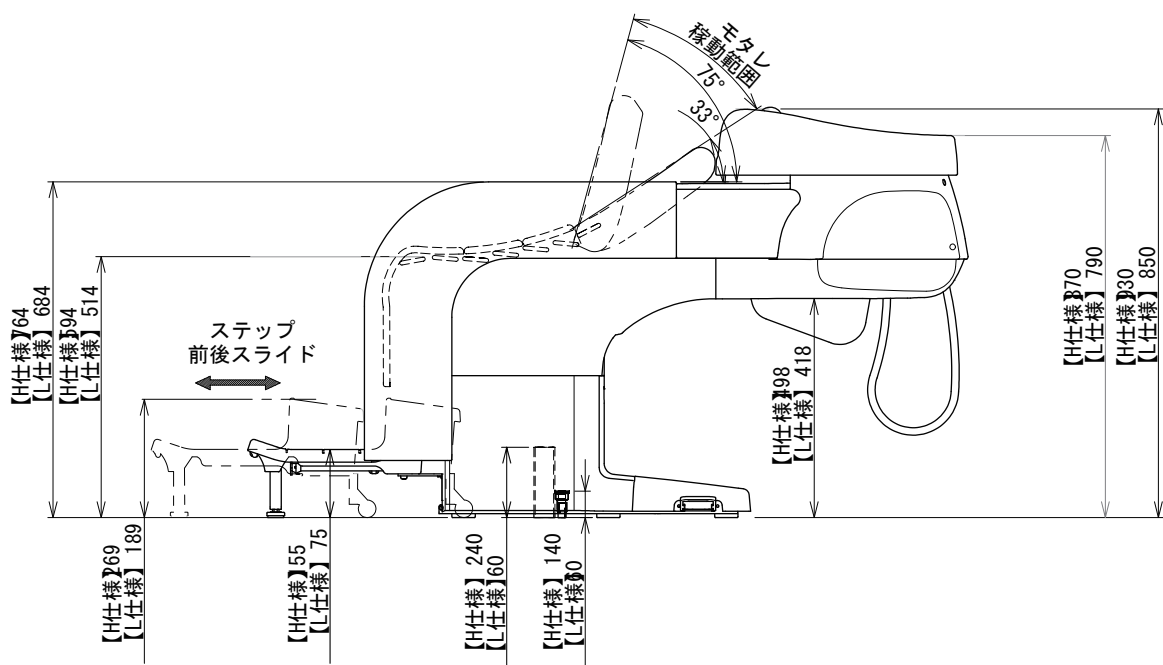
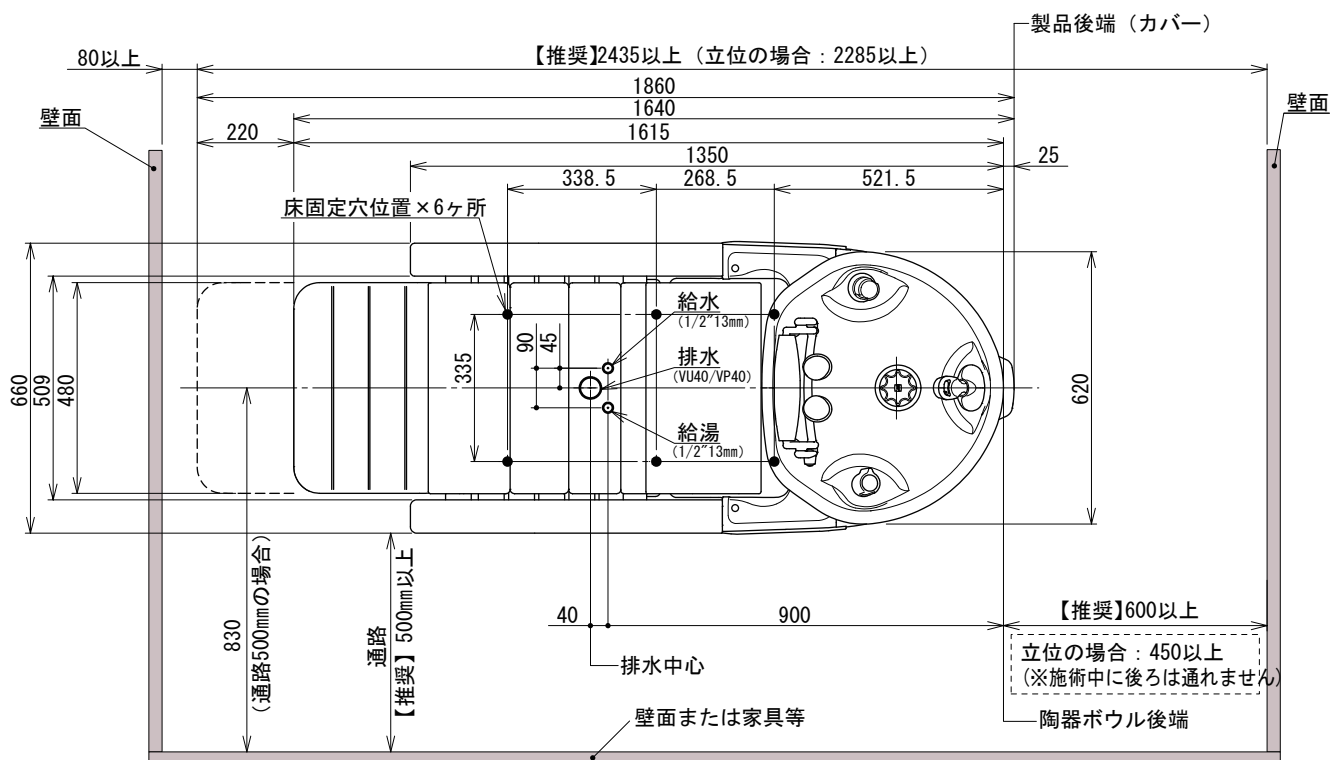
- 床面が陶器タイルや大理石、人工大理石、鏡面のステンレス等の平滑な床材の場合、座り込む際に、ステップが床に十分にグリップせずに誤動作し、転倒等につながるおそれがあります。
上記の床材の場合には、そのまま設置・使用せず、必ず『ステップ下シート(材質：EVA樹脂)』（別売オプション品）を設置して下さい。

使用条件

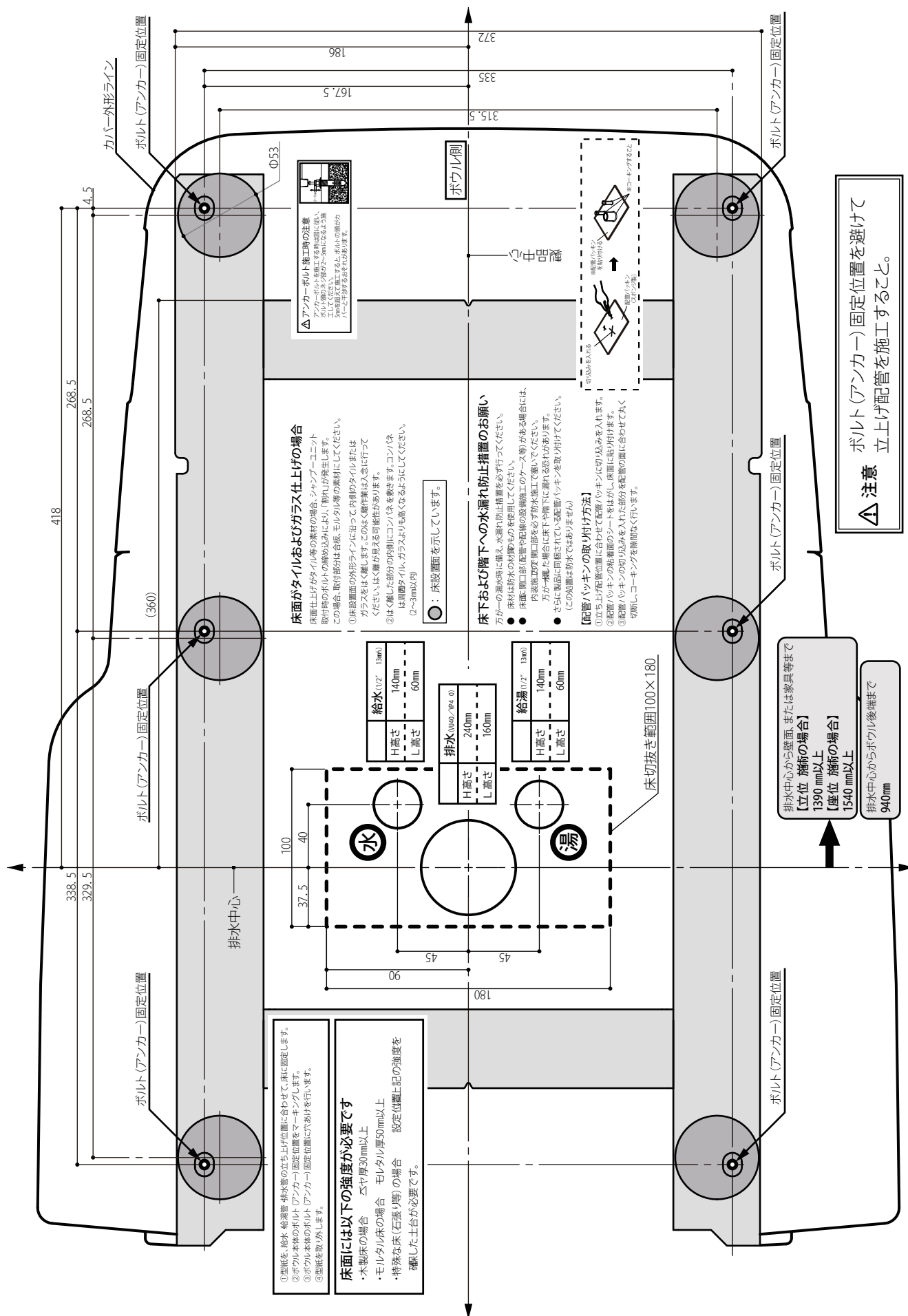
■使用給湯・給水条件

使用水	・上水道水（飲料不可の井戸水やサビ・砂を含んだ水は使用しないでください。） ・硬度が8 0 p p m以上の場合は、機器へのスケール詰まりを予防するため、軟水器による処理を行ってください。また、飲料可能な井戸水の場合、シャンプー時に泡が立ちにくい場合がありますので、同様に軟水器による処理を行ってください。
給湯・給水圧力	・0 . 1 ~ 0 . 4 M P a (1 ~ 4 k g f / c m²) の範囲にしてください。また、複数台での使用の場合でも、0 . 1 M P a (1 k g f / c m²) 以下にならないようにしてください。 ・給水圧力≧給湯圧力にしてください。 ・給湯圧力と給水圧力の差は、0 . 2 M P a (2 k g f / c m²) 以内にしてください。
機器への給湯温度	・給湯温度は8 0 ℃以下にしてください。 (吐水温度40℃で使用する場合の推奨は60℃～80℃) ・使用シャワー温度より1 0 ℃以上高くしてください。
給湯機	・給湯機は、理美容サロン専用の暖流システムのご使用をおすすめします。その場合の施工方法は、『タカラ同時給湯システム暖流工事の手引き』を参照してください。 ・瞬間湯沸かし器をご使用の場合は、1 6 号以上を使用してください。(洗髪能力は、瞬間湯沸かし器 1 台につきシャンプーユニット 1 台です。) ・貯湯式ボイラーをご使用の場合は、貯湯式ボイラー説明書を参照してください。 ・給湯には蒸気を使用しないでください。

施工配管図



製品固定位置図



仕 様

品番	EX-YMIXI H EX-YMIXI L		
外形寸法	「製品寸法図」参照		
最大ステップスライド量	220mm		
最大リクライニング角度	42°	（背モタレ角度	33° ～75°
ネック高さ	H仕様	900mm	
	L仕様	820mm	
混合方式	サーモスタット方式		
吐水方式／吐水量 （湯圧・水圧：各0.1MPaの場合）	スパシャワーヘッド	シャワー吐水	： 9.9 L／min
		泡沫吐水	： 8.3 L／min
止水栓	単水栓（回転式）		
使用環境	動作温度 10 ～ 40℃		
	動作湿度 95％以下（ただし結露しないこと）		
※給湯温度	80℃以下（吐水温度40℃で使用する場合は推奨は60℃～80℃）		
※給湯・給水圧力	・ 0.1～0.4MPa（1～4kgf／cm ² ）		
	・ 給水圧力≧給湯圧力		
	・ 給湯圧力と給水圧力の差：0.2MPa（2kgf／cm ² ）以内		
質量	102kg		
	内訳：	本体	85kg
		ステップ	10kg
		張り	10kg
耐荷重	135kg以下		

※給湯温度、給湯・給水圧力の詳細は、Y U M E i X i 施工説明書をご覧ください。